

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

がんばろう東北！ つなごう北秋田

～教育講演会in北秋田市～

市教育委員会と市子ども会育成連合会が主催する「教育講演会in北秋田市」が2月13日、秋田北鷹高校で開かれ、市民ら約100人が聴講しました。講演会では、長田徹氏(文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校連携推進室連携支援係長)が「震災をとおり学校と地域の絆を語る」と題して講演。長田氏は、東日本大震災の際に仙台市で被災しており、仙台市では学校と地域との繋がりが密なところは大きな混乱も無く、避難所の組織化が順調だったとし、学校と地域の絆の大切さを

語り「学校は地域に浮かぶ船。北秋田らしい学校と地域の協働を進めてほしい」と結びました。



▲3.11震災のエピソードを交えながらの講演

この後、講師の伊藤さんが所属する楽団「峠のシルヴァファイブ」による生演奏も披露されました。



▲「楽しく過ごすことが大切」と話す伊藤清美さん

講話と生演奏で学習

～合川ことぶき大学「学習会」～

合川ことぶき大学の学習会が2月17日、合川農村環境改善センターで開かれ、30人の学生が講師の講話や生演奏を楽しみました。学習会では、秋田県の「はつらつ高齢者輝き100選」を受賞した伊藤清美さん(米内沢)が「はつらつ人生・ゆかいな仲間」と題し講話。伊藤さんは「健やかに楽しく人生を送るには、良くないことは考えず、笑顔で楽しく過ごす。食事はよく噛み脳の活性化につなげる。仲間作りをして楽しく過ごすことが大切」などと呼びかけました。

環境にやさしい素材で手づくりを

～森吉公民館「エコクラフト講座」～

森吉公民館の公開講座「エコクラフト講座」が、3月6日・7日の2日間、森吉コミュニティセンターで開かれ、17人が参加しました。講師は菅原知明さん(鷹巣)。エコクラフトは、紙製のクラフトテープを編み込んで作品を仕上げるもので、今回は浅型バスケットと一輪さしを作りました。クラフトテープは、竹などと比べて柔らかく、曲げたり、切ったりするのが簡単で初心者にも扱いやすく、ハサミと木工用接着剤があれば様々な作品づくりに挑戦できます。受講生は、

くだ物入れや毛糸入れなど、用途を考えながら作業に励んでいました。



▲バスケットを編む受講生

高齢者大学受講生募集

各大学は5月に開講予定

平成24年度高齢者大学を各地区で開講します。受講を希望される方は、生涯学習課または各公民館へお申し込みください。運営費は、いずれも千円です。

■高鷹大学

テーマ 「仲間との絆を深め、ともに学ぼう」
内容 全体講座など年6回程度、クラブ活動は月1～2回
対象 55歳以上の方

受付期間 4月2日(月)～16日(月)
会場 中央公民館 ☎62・1130

■合川ことぶき大学

テーマ 「学び続ける喜びの発見と仲間作り」
内容 年8回実施の予定(学習会、移動研修、スポーツレクなど)
対象 55歳以上の方

受付期間 4月2日(月)～20日(金)
会場 合川公民館 ☎78・2114

■森吉大学

テーマ 「新たな生きがいには挑戦してみよう」
内容 年6回実施の予定(講演会、移動研修、学習会など)
対象 55歳以上の方

受付期間 4月2日(月)～26日(木)
会場 森吉公民館 ☎72・3259

阿仁生き生き大学

テーマ 「仲間とともに楽しく学び生きがいを見つけよう」
内容 年6回(講演会、移動研修、歴史探訪など)
対象 55歳以上の方

受付期間 4月2日(月)～27日(金)
会場 阿仁公民館 ☎82・2220

中央公民館通年講座募集

会場 中央公民館 ☎62・1130

■母と子のわくわく広場

入園前(満1歳以上)の子どもと保護者を対象に、親子で身体を動かしたり、遊びを通してふれあいを大切にした講座です。
開催日 毎月第2月曜日
時間 10時～11時30分
場所 中央公民館
定員 親子30組 参加費 無料
※4月は、9日(月)に開催します



公民館使用料減免登録申請

会場 各公民館

公民館を使用する団体で、今年度の公民館使用料減免登録証(カード)の交付を希望する団体は、各公民館に申請してください。昨年度交付された団体であっても、新たに申請が必要です。

ふるさとの文化財

北秋田市指定有形文化財 (考古資料)

○「板状土偶」

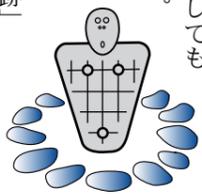
- ◇所在地 北秋田市文化会館
- ◇所有者 北秋田市教育委員会

伊勢堂岱遺跡から出土したもので、手足を省略した逆三角形の板状の体部に、突き出た頭部が特徴的な土偶です。

高さ18・8cm、幅13・0cm、厚さ1・5cmで、頭部には目や鼻、口、眉が工夫して描かれ、頸には入れ墨と思われる線が見られます。上部には2個の孔があいていて、髪型を模していたと思われる胸部は粘土粒で乳部・へそが、「ハ」字様の段差で肋骨下端が表現されています。表側は格子目状の、裏側には斜目状の線が見られ、当時の服装を表したものと思われます。肩から腑の下にかけて孔があり、装飾用や吊り下げ用と推測されています。出土された多くの土偶が破損していますが、本土偶だけが唯一復元できました。環状列石Bの土坑墓から発見され埋葬に係わるものと推定されています。平成21年9月から1カ月半イギリス大英博物館の企画展に出展



▲伊勢堂岱遺跡の板状土偶



されたり、東京を始め各地で展示公開されるなど、国内外で高く評価されているとても貴重な土偶です。

*「伊勢堂岱遺跡」

縄文時代後期前葉(BC2000年頃)の遺跡で、4つの環状列石が確認されており国内では他に例がなく、平成13年1月に国指定史跡となりました。国及び県、市では世界遺産登録実現をめざして環境整備等に努めており、見学者が年々増えています。

▽平成23年2月秋田県指定文化財

▽資料/北秋田市教育委員会作成資料
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二